

女らしさ男らしさ

グループホーム みのりほーむ

「女らしさ、男らしさ」という言葉を久しぶりに聞いたような気がします。

今は性別による役割を押し付けたりしない時代だと思いますが、現実にはやはり女の仕事、男の仕事と無意識に思ってしまうところがあります。ただし、体力的には違いがあると思いますが……。

私には嫁に行ってしまいました。娘が2人います。小さい時から「人に迷惑をかけないように」とは言っても、「女らしくしなさい」と言ったことはありませんが、普通に良い娘に育ったと思っています。

人間として自分のできることをやる。困っている人への思いやりは男女関係なく必要なことだと思います。

大隈 敦子



女らしさ、男らしさという言葉は最近ではあまり耳にすることがなくなった。

私が子どもの頃は「女の子なんだから…」と育てられてきた。それが当たり前だと思ってきた。母親も私が中学生の頃まで専業主婦であり、周りの母親たちも専業主婦が多かった。女は結婚したら家庭を守って家事育児に専念するというそんな時代も記憶に新しい。

しかし、次第に一度家庭に入った女性も働くことができる機会と場所が増え、今では共稼ぎが当たり前になった。

今から25年ほど前の1999年に男女平等に関する法律として男女共同参画社会基本法が制定されて以来、職業においても女性特有の保母さん、看護婦さん等も保育士、看護師というように男女格差の問題や男女平等の考えが変化したことから呼び方も変わってきました。このように時代は徐々に男女平等の世の中に変遷してきた。

しかし、私が思うのはこのような時代になってきたけれど、その女（男）らしさが求められる場面も世の中にはあると思う。そういう言葉を差別的だと一括りにせず、女（男）らしさを必要としているところに充てていかなければならないと思います。一例として介護の現場でいうとやはり同性介助が望ましいことがそうである。実際には人手不足の問題もあり意向に添えない場合もあるだろうが、やはり支援される側の気持ちを配慮して少しでも羞恥心を和らげられるよう、気持ちに寄り添った支援をしていくことが大切であると思う。

性別による差別はもちろんしてはいけないが、区別して男女それぞれの性質を生かせる適所に男女を配置することはなんら差別的ではなく生産性を考えると合理的であると考えている。そのため、それぞれが“らしさ”を存分に生かせるような社会にしていかなければならないと思う。

瀬浪 真子



児童デイサービス くろーばー

私の姉は、ザッ！昭和のできる妻って感じで、男を立てる！家事は女が！と、私とは全くの正反対です。すごいなー、私もそうなりたいなーと思う気持ちはあるものの、気持ちと行動が伴わず……笑

パパごめん！結婚してくれてありがとう！！笑
子どもが生まれてから、自分にかえられる時間が減り、家ではノーメイクにオールバックの団子ヘアで、楽ちんなスウェット姿という女らしさのかけらもない私ですが、母である前に1人の女性として、今年は身なりも含め、特に内面！私の永遠のテーマの内面……内面を磨きたいなと思っています。

周りに感謝の気持ちを忘れず、ありがとうと言える、間違っただけを素直に受け止めて、ごめんなさいと言える、今ある幸せを当たり前だと思わず、大切にできる、そんな大人の女性になりたいなと思います。



程塚 幸子



「女らしさ・男らしさ」…このテーマで自分の考えを纏めることに難しさを感じ、しばらく「あぁでもない、こうでもない」と頭を悩ませていたが、ようやく文章に出来そうです。

私は昭和生まれ。ランドセルは男の子が「黒」女の子は「赤」（ピンク色のランドセルも出始めていた頃ですが…）という時代。

「多様性」という言葉にほんのり違和感を覚えることもあります。古い考えかも知れませんが、男性と女性とではそもそもの造りが違うので（男性は力が強い、女性は柔らかさや繊細さを持っている←あくまで私のイメージですが）全てを対等というのには難しいのではないかと…男女それぞれの役割があって、その能力に合った仕事をするのが良いと私は思います。

ただ、そう思う傍ら「その人らしさ」が一番大事なのでは…とも思います。自分自身の個性を認めて欲しいと思う様に他の人の持ち味も素敵だと思える人になりたい。あれこれ書きましたが、男女に関係なく大切なのは、人としての「優しさや、相手を思いやる気持ち」なのでしょう。

河中 麻里子



女らしさ男らしさ



児童デイサービス ひまわり

私は昭和生まれの人間である。昔から両親や祖母から男らしくしなさい・長男としてなどの教育を受けてきました。もちろん学校でも同様な教育でした。

小学校の思い出で、〇〇くんと言うかなり女の子ばい同級生がいました。もちろんクラスの乱暴な男子たちに「女男」と言われ、いじめられていました。

私は仲が良かったがいじめられるのを止めようとはせず、見ているだけでした。さすがに中高生にもなるといじめはなくなりました。今思うと彼は心は女の子であり、ずーっと違和感や辛い思いをしていたんだと思います。今頃は女性として生きているかもしれないとふと思います。

世界には性別に女と男しかなくどちらでもないという人が困っていると聞きます。人間は平等の権利を有します。



長年の福祉の仕事を通して、男の権利や女の権利だけでなく、どちらでもない人間の権利もあるのだと理解してきました。

多様性の時代です。

性同一性障害など体は男でも心は女であり、今の社会で生きづらさを感じている人たちも声を上げてきます。良い事だと思いますし理解しているつもりです。孫たちにも「女の子らしくしなさい」と言ったりしてはいけなく考えています。

「自分らしくしなさい、自分らしくなりなさい」そう言ってあげたいですね。しかし、孫たちはピンクやアクセサリー・お化粧道具、可愛い洋服が大好きなのです。それを見て渋谷家の孫はやっぱり女の子であるって安心する自分もいる事も事実なのです。やはり昭和の男ですかね。

渋谷 昭彦



正直、今回のお題について、ジェンダーレスと言われている今の時代にそぐわないなと感じてしまった。

女性でもカッコいい、男性でもかわいいという印象を持たれる人はいるし、新一年生になる子のランドセル選びの色も様々で、女子高生がスカートではないパンツ姿も珍しくない。

どのような仕草や身なりで女らしさや男らしさを感じるのかも人それぞれだと思う。女だから、男だからではなく「その人」らしさがあれば良いのではないのでしょうか…。

確かに人が生きていくうえで「性」を切っては考えられないが「性」は多様でゆらぐものとしてとらえ、まずはその人の「本質」「らしさ」を見ていければと思っている。

畑山 雅子



就労継続支援B型 青空協同組合

戦前の男らしさとは、弱音を吐かず、女を守るといった考えが多かった、男性が仕事を一手に引き受けることや、戦争に出るなど男性優位の考えがあった為であると思う。しかし21世紀に入り男女平等がうたわれるようになり、それにより男らしさのイメージは変わり万人が認めるような概念が失われている。

女らしさも、優しく思いやりがある、身体的な魅力がある、また結婚することや、出産することも女らしさの象徴となっていた。しかし男性同様現在では、女性ならではの感覚・能力を生活や職業に活かすことや、女性が自分の生き方を向上させる力や、女性が自分の存在を示す力も女らしさであるという考え方に変化している。現在では10人に聞けば10通りの回答が来るであろう、それだけ多様化してきている。

「男らしさ」「女らしさ」は個人主観に大きく左右され千差万別である。また個人のプライベートな考えであり、それを披露することはデリケートな部分でもあり個人の回答は控える。

土田 貴



何が男らしいか、何が女らしいか…は、個人的に思い浮かぶことはある。それは、両親や姉妹、友人を始め周囲の人やテレビや雑誌など、様々な方面から影響を受けて出来上がってきた。自分が自分に求めるもの。我が子や家族に求めるもの。他人に求めるもの。人から求められるもの(またはそう感じるもの)。これらは、それぞれ違いもあり、しかも、今までの経験や情報から、時が経つと共に変化しているので面白い。

何年も前から、ジェンダーレスとかLGBTQとか、若かりし頃には聞かなかった新しい言葉と共に、思いもよらぬ考え方が発信されるようになった。

私自身は、殆ど正確に理解出来ていない。ただ、多くの情報が発信される中で、漠然と感じているのは、人は、十人十色で考え方も価値観も違うのが当たり前なのだから、性別もあいまいな時代に、「男らしさ、女らしさ」についての答えは、個人的にはあって、公には無いようなものなのではないだろうか。

障がい者福祉のお仕事に就いて2年が経った今、健常者とか、障がい者とかのくくりも難しいと感じているのに、男と女…二つだけのくくりで考えるなんて時代遅れなのでは!?とってしまった。

可能な限り、視野の広い人間でありたい。

平田 久美





2024年度 印旛・山武ブロック職員交流
バレーボール大会



9月21日(土)に印旛・山武地区の職員バレーボール大会に参加しました。この大会は印旛・山武地区の千葉県知的障害者福祉協会加盟の事業所が集まり、ガンガンリーグ(県大会をめざすグループ)とほのぼのリーグ(交流を深めるグループ)の2チームに分かれて行い、みのり福祉会は、ほのぼのリーグに出場しました。残念ながら、1勝も出来ず、敗退しました。この日は、みのり市、放課後等デイサービスの開所と重なり、職員はてんでこ舞いでした。勝てない言い訳をしましたが、来年は優勝めざして頑張るぞ~!!



木下財団様より
児童デイサービス そら



理事の長澤 様

いつも素敵なお花をありがとうございます
玄関先に彩を添えて利用者さんたちを出迎えてくれているようです



職員について~新入職員~
よろしくお願い致します。

ひまわり まつむら ひろえ
松村 博恵さん
よろしくお願い致します。

くらーぱー ささき のえ
佐々木 望瑛さん

保育士として入職させて頂いた佐々木望瑛です。お子さまが安心して楽しめるよう、気持ちや思いに寄り添って笑顔いっぱい職員になりたいと思っています。よろしくお願い致します。

くらーぱー ふじい ゆきひろ
藤井 行広さん

11月よりくらーぱーにてお世話になっております藤井行広です。常に、安全・安心を自分に言い聞かせながら行動したいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

みのりカフェ みのり
森 美恵子さん

週1回の勤務ですが、よろしくお願い致します。



旧年中は大変お世話になり
誠にありがとうございました

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

みのり福祉会
理事長 玄田 芳弘



生活さぼーとピース 管理者 巽甲

たくさんのチャレンジをした今年、来年度は『カタチにしていこう』心で、取り組んでいきます。

青空協同組合 管理者 淺野

もっともっと楽しむ! つらい時こそ、笑顔!

相談支援 らしんばん 管理者 酒井

皆様方に信頼していただける事業所を目指して精進してまいります。

児童デイサービス そら 管理者 和田

美味しいものを沢山食べて、元気に楽しく過ごしていきたいと思ひます。

児童デイサービス くらーぱー 管理者 高坂

共に成長を喜べる場所であるよう到来年度も力を合わせていきます。

児童デイサービス ひまわり 管理者 畑山

今年も子ども達の笑顔とともに元気にすごしていきたいと思ひます。

グループホーム みのりほーむ 管理者 立田

一日一日を楽しく暮らせますように